

福岡産業デザイン賞 受賞商品集
FUKUOKA DESIGN AWARD 2005





福岡県知事
麻生 渡

「福岡産業デザイン賞」も今年で7回目を迎え、年々、企業とデザイナーとの協働による商品が増え、商品開発にデザインを生かす「福岡産業デザイン賞」の趣旨が定着してきていることを大変うれしく思います。

ブランド戦略、顧客満足、ひいては、企業価値そのものに大きな影響力をもつ「デザイン」は、売れるものづくりに欠かせない重要な要素となっています。アジアにおいても、デザイン重視の戦略を掲げ、最新の機能と洗練されたデザインによりブランド価値が大幅に向上している企業も出てきており、国際間競争はますます厳しさを増しています。

一方、本県は、高度なものづくり技術を持った企業が集積しており、また、多くのデザイン関連産業やデザイン関連教育機関にも恵まれた産業デザイン拠点としての潜在能力を有した地域です。その特色を生かし、本県では、福岡県産業デザイン協議会と連携し、商品開発におけるデザインの活用を推進するなど、県内企業の競争力強化の支援に取り組んでいます。

今後、企業とデザイナーとの連携がますます広がり、福岡県から魅力ある商品を生み出していただくことを期待しています。



福岡県産業デザイン協議会
会長 水口 敬司

「福岡産業デザイン賞」は、県内企業のデザインの優れた商品を表彰・推奨し、デザインをもっと身近な経営資源として活用していただくため、平成11年より実施しているものです。7回目となる今回は、例年にも増してデザインを活用した素晴らしい商品が多く、デザインへの関心の高まりを感じております。また、今回初めての試みとして、賞に併せ応募商品展示会を開催し、多数の来場者を迎えることができました。

今日のように、ものにあふれる時代においては、消費者をひきつける個性的で魅力ある商品の開発が求められます。「グッドデザイン イズ グッドビジネス」という言葉が示すとおり、すばらしいデザインはビジネスの成功をもたらします。依然厳しい経済状況が続く中で、地域企業が発展していくためには、デザインを経営資源として位置づけ、戦略的に活用していくことが、益々重要になっていくと考えております。

今後とも、「売れるものづくり」を推進するため、本県におけるデザイン振興の中核組織として、企業とデザイナーとの活発な交流を促進し、デザインの戦略的活用に向けて支援して参りますので、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

福岡産業デザイン賞審査委員

審査委員	委員長	森田 昌嗣氏	デザインディレクター(九州大学大学院芸術工学研究院 教授)
	委員	桐山登士樹氏	デザインディレクター(株式会社 TRUNK 代表取締役)
		鮎川 透氏	建築家(株式会社 環・設計工房 代表取締役)
		大歯 滋喜氏	福岡県産業デザイン協議会企画専門委員長(昭和鉄工 株式会社 専務取締役)
		加生 幸彦氏	プロダクトデザイナー(東陶機器 株式会社 デザインセンター 主幹)
		かねこしんぞう氏	グラフィックデザイナー(有限会社 インデックス・コムズ 代表取締役)
		清須美匡洋氏	デザインプロデューサー(九州大学大学院芸術工学研究院 教授)






受賞商品一覧

部門	商品名	企業名
----	-----	-----


大賞

 マテリアル部門	ecopo(エコポ)	田川産業(株)
---	------------	---------

優秀賞

 地域文化部門	SOEJIMA IGUSA	(株) 添島勲商店
 マテリアル部門	かかと角質ケア「かかとたまご」	(株) サンテ・コーポレーション
 テクノロジー	ブッシュカッタージョージ	(株) 筑水キャニコム
 ライフスタイル	ROW-楼-bench	(株) エフキャスト
 インターフェース部門	あんしんなタオルシリーズ-眠り-	宮原タオル(株)

特別賞

 インターフェース部門	オッシュョイ! 玄界島 玄界島復興祈願商品	日本の島425プロジェクト (株)ふくや、(株) 積文館書店 浜地酒造(株)、(株) 如水庵
--	-----------------------	--

奨励賞

 地域文化部門	時の灯りシリーズ(moon・bloom・air)	(有) アサヒ突板工業
	茶衣品 SAEMON	茶衣品グループ (隈本木工所・鏝工芸・栄和装工)
	二重織ストール~博多織五色献上によせて~ 「女性のためのトータルファッション」	西村織物(株)
	芭蕉生誕360年記念 平松暁作芭蕉春秋 4作(桜、芭蕉、楓、雪)	鷗翔(株)
 マテリアル部門	ORIGINAL TASTEシリーズ	(株) アクタ
	筑後もめん広巾	(有) 坂田織物
 テクノロジー部門	フレキシブル面スイッチ	(株) アメニテックス
	サインマーカー	コックス(株)
	みず工房キューブ	(株) タカギ
 環境・福祉部門	目配り三角シール サンクリア F-1DT12	(有) 完装
	エレガントブラ	(株) T&Iインターナショナル
	らくらく [®] シリーズ	月星化成(株)
	医者・障害者が奨める制震エコ住宅(ゆりかごの家)	(有) ハウス119
 ライフスタイル部門	①しその実入りノンオイル青じそドレッシング ②柚子入り金胡麻ドレッシング ③香味野菜入り香味焙煎たまねぎ醤油ドレッシング ④ヒアルロン酸入りピンクグレープフルーツドレッシング	一番食品(株)
	GALLERY BASYOU FOUR SEASONS	末次装工材(株)
	メモリアルタブレット「静寂」	(有) ティ・アール・ジィ
	PERVIO(ペルビオ)ロー・テーブル	東木工(株)
	ウッドスクーター	木工房プロペラハウス
 インターフェース部門	スクローラー	(株) イーケイジャパン
	VANASARAウコン石けん/VANASARA黒糖石けん/ VANASARAシルクと桑の葉石けん	まるは油脂化学(株)

デザインを活用した商品開発の促進を目的に創設された本表彰制度は、7回目を迎えました。今年度も、昨年度とほぼ同じ100件(67社)の例年以上に質の高い商品や製品の応募がありました。特に、昨年に引き続き、過去の応募や受賞実績を踏まえた、優れた応募が多く、本事業の継続性の意義を感じさせる審査となりました。

審査は、「商品の市場性」「地域産業への影響力」「デザインの獨創性・新規性・先導性」を選考基準に、これまでと同様、以下の6部門に区分し、書類および実物、概要パネルなどによって審査を行いました。また、今年は7名で審査にあたりました。

- 地域文化部門:工芸的価値があり、地域に貢献している商品
- マテリアル部門:ビジネスの可能性を広げ、その波及効果が大きい素材・部品等
- テクノロジー部門:技術面や性能面が優れている商品
- 環境・福祉部門:地球環境にやさしい、生活福祉の向上につながる商品
- ライフスタイル部門:新しいライフスタイルを提案している商品
- インターフェース部門:パッケージ等ユーザーとのインターフェースに優れている商品

1次審査は、各応募内容の確認と書類審査、そして、2次審査用の目安のための部門分けを行いました。2次審査は、1次審査での事前資料を基に各審査員が実物やパネル等を照査して入賞候補案を仮選定した後、審査委員が部門別に分かれて、応募商品説明を受けながら審査委員からのコメントを含めた質疑応答による詳細な公開審査を行いました。その後、公開審査結果を踏まえての審査員による協議を経て、評価が高かった27件の入賞候補案を選定しました。

今回は、最初の協議により優秀賞候補を選び、その中から最優秀である大賞1件を候補として選定した後、環境・福祉部門を除く各部門別の優秀賞5件、部門を超えて評価された特別賞1件、奨励賞20件を選びました。

大賞を受賞した日本の伝統素材である漆喰土壁の特性を活かした、焼かない植木鉢の手作りキット「ecopo (エコポ)」は、過去に受賞実績のある漆喰メーカーによる新たなチャレンジでした。漆喰の環境にやさしい機能性を活かし、漆喰素材を直に触れることによる実体験型の学習効果があり、母親や友達とコミュニケーションによって植木鉢を工夫しながら創る喜びを提供していることを的確に表現したパッケージデザインなど、審査委員全員から高い評価を得ました。

部門別では、地域文化部門は、イグサの感触や香りの魅力を高度なデザインでまとめ欧米展開を視野に入れた「SOEJIMA IGUSA」が優秀賞を受賞し、突板を照明に活かした「時の灯りシリーズ」、博多織の着物やストール、そして八女地区の特産である、お茶と漆塗りを融合させた意欲作などが奨励賞に選ばれました。この部門は、回を重ねる毎にデザインレベルが向上しています。このことは、地域産業活性化にデザイン活用が一役を担っている証ともいえます。

マテリアル部門は、応募数が少ない部門でしたがレベルが高く、大賞となった「ecopo (エコポ)」に加え、優秀賞のかかと角質ケアのための形が機能表現した靴下「かかとたまご」、広幅織りを実現した久留米紬とプラスチック製食品容器が奨励賞に選ばれました。

応募の多かったテクノロジー部門は、使用性と形態が融合したデザインによる楽しく雑草などを刈る草刈機「ブッシュカッタージョージ」が優秀賞、太陽電池式発光器や蛇口一体型浄水器、フレキシブル面スイッチの3件が奨励賞であり、中小企業の技術力を商品に結びつけたものが評価されました。

環境・福祉部門は、例年に比べ応募数が少なかったためか、今回は優秀賞の該当がなく、4件の奨励賞となりました。しかし奨励賞の反射シート、高齢者用靴、高齢・障害者用下着、エコ住宅は、それぞれ独自の技術を活かした商品化であり、福岡地域産業の潜在力を感じさせられました。

最も応募数が多かったのがライフスタイル部門でしたが、優秀賞となったアルミと畳の組み合わせによる、日本のかたちを提示した「ROW-楼-BENCH」は、大賞候補ともなった優れたデザインであり、また、奨励賞のローテーブルや収納家具、位牌と木玩具、ドレッシングのように多彩でかつ高いデザインレベルでの審査となりました。

インターフェース部門は、受賞経験を有する企業が多く、過去の受賞作のシリーズ商品である優秀賞の「あんしんなタオルシリーズ-眠り-」や奨励賞の健康石けんロボット工作キットは、継続的なデザイン活用が着実に成果に結びついたといえます。また、この部門で審査された「オッシュョイ! 玄界島」は、異業種協働による地域支援活動が高く評価され、部門を超えた特別賞に選ばれました。

第7回福岡産業デザイン賞は、昨年以上に応募商品等のデザインレベルが高く、継続的なデザイン開発が質の厚みを深めてきたと実感しました。今回も受賞の多くが、過去の受賞を礎に、継続的なデザイン活用による質の高度化を果たしています。また、受賞商品や応募商品には、これまで以上に地域企業のデザイン活用による商品開発への積極的な取り組みが伺え、地域から日本、そして世界へ飛躍できる可能性を秘めた商品等が増えてきました。デザイン活用とは、ユーザーの観点からのものづくりであり、生活イメージを機能と感性の融合によって具現化し事業に結びつけること、と考えます。来年度も、世界に発信できる商品や製品が多数応募されることを期待しております。

マテリアル部門



商品名 ecopo (エコポ)
 企業名 田川産業 株式会社
 〒826-0041 田川市大字弓削田1924番地
 代表取締役社長 行平 信義
 TEL 0947-44-2240 FAX 0947-44-8484
 URL <http://www.shirokabe.co.jp/>
 E-mail oike@shirokabe.co.jp

デザイナー 国立大学法人 九州工業大学工学部建設社会工学科
 伊東 啓太郎 研究室
 〒804-8550 北九州市戸畑区仙水町1-1
 助教授 伊東 啓太郎

〈審査講評〉

日本の伝統素材である漆喰土壁の特性を活かした焼かない植木鉢の手作りキット。

漆喰同様に調湿性を持ち、土中水分率の自己調整機能があり、製品中の石灰による酸性土壌改良効果などの、植物の生育にも有利な通常の植木鉢にはない独自の機能を持った製品開発の発想が評価された。また、ガーデニングを楽しむ方や小さな子どもを持つ母親を主なターゲットユーザーとした手作りキットによる商品展開は、漆喰素材を直に触れることによる実体験型の学習効果があり、母親や友達とコミュニケーションによって植木鉢を工夫しながら創る喜びを提供している。さらに、植木鉢手作りキットにふさわしい、わかりやすく楽しいパッケージデザインが施されており、ユーザーが使ってみたくなるデザインコンセプトが機能面での開発コンセプトと見事に合致していることが高く評価された。

特に、これまで福岡産業デザイン賞の優秀賞など多数受賞実績のある田川産業の漆喰タイル開発とは、本商品は製品開発の方向は違うものの、伝統素材の漆喰を現代に活用するために真摯に取り組んでいる一貫した企業姿勢が賞賛された。同時に、産学連携による科学的検証を踏まえた柔軟な商品展開は、企業のチャレンジ精神が創り出した産学連携のビジネスモデルをも提示している点で意義深いものといえる。

【森田昌嗣】

地域文化部門



商品名 SOEJIMA IGUSA
 企業名 株式会社 添島勲商店
 〒831-0014 大川市中木室23-1
 代表取締役社長 佐々木 徹
 TEL 0944-88-1141 FAX 0944-88-1503
 URL <http://www.soejima.com/>
 E-mail info@soejima.com

デザイナー 有限会社 フォルムSKR
 〒108-0041 東京都港区芝5-13-16
 川上 玲子

〈審査講評〉

日本の住宅は益々洋風化が進んでいる。その分日本古来の和の生活のあり方も変化している。

今回この部門で優秀賞を受賞したのは、添島勲商店のいぐさラグ・マットやランチョン・マット。いわゆる畳の材料で作られたラグである。この香り高い「い草」は空気の浄化作用や消臭効果、湿度の調整、そして抗菌性など、高温多湿の日本の風土にもっとも適した素材といえる。この受賞作品は洋風化してしまった室内環境の中で機能的にも、色彩的にもデザインが考慮された商品だった。黒と焦茶の抑えた色調とかなりビビットな鮮やかな色調がうまくミックスされた、室内インテリアの中にもうまく溶け込むデザイン性が評価された。 【かねこしんぞう】

マテリアル部門



商品名 かかと角質ケア「かかとたまご」
 企業名 株式会社 サンテ・コーポレーション
 〒830-0061 久留米市津福今町211-6
 代表取締役 原口 彰
 TEL 0942-39-3753 FAX 0942-39-3706
 URL <http://www.santecorp.jp/>
 E-mail sante@violin.ocn.ne.jp

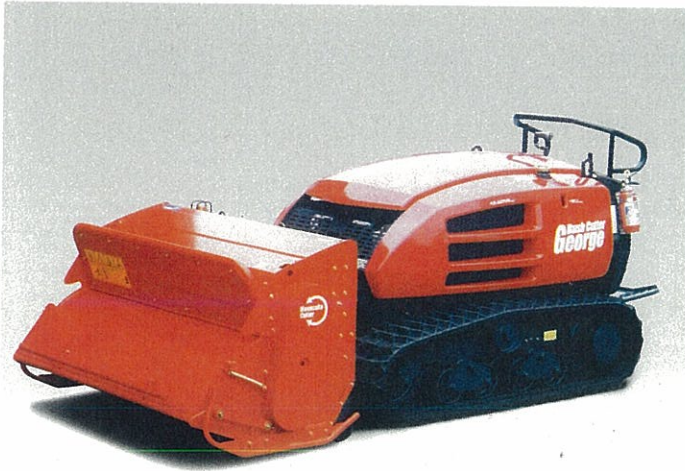
〈審査講評〉

多くの女性が、かかとのガサガサ・ひび割れで悩んでいるのは確かである。ラップを巻いて就寝している人もいるくらいだ。くつろぐ時に靴下は履きたくないものである。

サポーターと靴下の長所を活かし、靴下感覚で履けるサポーターとして商品化した点が評価された。明るく楽しいカラーバリエーションで、好みや気分によって選べるのが良い。

また、下着や靴下と同様、他人のものは使いたくないものであり、色によって家族間で区別することも可能である。卵殻膜プロテイン配合ゴムを手作業で塗布しているとのことであるが、機械化することでコストダウンの可能性もある。 【加生幸彦】

テクノロジー部門



商品名 ブッシュカッタージョージ

企業名 株式会社 筑水キャニコム
〒839-1936 うきは市吉井町福益90-1
代表取締役社長 包行 均
TEL 0943-75-2195 FAX 0943-75-4396
URL <http://www.canycom.co.jp/>
E-mail info@canycom.co.jp

〈審査講評〉

河川敷の法面(のりめん)やスキー場、キャンプ場等の雑草、雑木を刈り取るための草刈機。

2001年に優秀賞を受賞した『草刈機まさお』に続く2度目の受賞である。クローラで走行し、車両前部の刈取部で草を刈り取る。作業者は車両後部のステップに乗り、操作運転を行う。

『楽しく刈る!』をキーワードに、楽しく快適な草刈作業を実現するために、左右の傾斜に対して運転席が常に水平を保つ水平制御装置や際刈作業にスライズライディング機構を採用するなど、世界初のテクノロジーが搭載されている。

造形面では、車体前方を低く、幅を絞り込むことで、良好な視界を確保。運転席の水平制御装置との相乗効果で作業性、安全性と作業者の疲労の軽減にも配慮しながら、シンプルで一体感のある外観にまとめたところが評価された。

ネーミングのユニークさも含め、本シリーズの今後の発展が期待される。
【大歯滋喜】

ライフスタイル部門



商品名 ROW-楼-bench

企業名 株式会社 エフキャスト
〒811-2112 糟屋郡須恵町大字植木1257-10
取締役社長 古屋 裕司
TEL 092-935-3939 FAX 092-935-3291
URL <http://www.f-cast.com/>
E-mail furuya@f-cast.com

デザイナー CRITIBA
〒810-0026 福岡市中央区古小烏町81-3-102
坂下 和長

〈審査講評〉

エフキャスト「ROW-楼-bench」は、デザイナーの意思が表現された商品である。多くの出展作品の中でデザイン的に優れていた。商品としての完成度も高く、今後さらに検討していただきたい点が2点ある。一つは、予定価格が高いこと。この価格を納得していただくには、他の関連アイテムも開発しブランドとしての展開(まとまり)が必要である。また、欧州家具メーカーの製品では当たり前になっている機能面のさらなる検討である。具体的には、畳面を裏返しにしたときにテーブルとして使える機能などの工夫が欲しい。
【桐山登士樹】

🌀 インターフェイス部門



商品名 あんしんなタオルシリーズ—眠り—
 企業名 宮原タオル 株式会社
 〒839-1233 久留米市田主丸町田主丸145-2
 代表取締役社長 宮原 良次
 TEL 0943-72-3232 FAX 0943-72-0345
 URL <http://www.miyahara-t.com/>
 E-mail miyahara@jb3.so-net.ne.jp

デザイナー 垣田健一郎デザイン事務所
 〒810-0042 福岡市中央区赤坂3-13-32-205
 垣田 健一郎

株式会社 チャイルド
 〒130-0021 東京都墨田区緑4丁目2番2号
 干場 順子

〈審査講評〉

「あんしんなタオル」は製品コンセプトとして、肌を守るためのスキンケア商品という、お客様へのわかりやすい明確な提供価値を絶えず持ち続け、今回タオルから寝具、ドレスという“心地よい眠り”をテーマとした生活領域にそのコンセプトを拡大することで新しい製品群を開発し、お客様へのさらなる企業姿勢や努力、製品群及び製品ブランド、さらには製品デザインとしての進化が認められたことが最大の受賞理由となった。この新しい製品群に対して、さらにきめ細かな情報デザイン（企業としての姿勢や約束、製品に対するコミットメント等を具体的な形で表すこと）を工夫することで、お客様に未永く使ってもらえるロイヤリティの高い商品として成長することを期待する。

今後ますます、お客様に対しての一貫した提供価値をもとに、お客様にとってより魅力的でわかりやすい、やさしい心遣い、スタイルを想起させる強い製品ブランド作りを目指して欲しい。

【清須美匠洋】

特 別 賞

🌀 インターフェイス部門



商品名 オッショイ!玄界島 玄界島復興祈願商品
 企業名 日本の島425プロジェクト
 (株)ふくや、(株)如水庵、浜地酒造(株)、(株)積文館書店

問い合わせ先
 〒810-0023 福岡市中央区警固1-4-18
 平松暁デザイン総合事務所(有)パートツウ
 TEL 092-724-0388 FAX 092-724-3587

デザイナー 平松暁デザイン総合事務所(有)パートツウ
 〒810-0023 福岡市中央区警固1-4-18
 平松 暁

〈審査講評〉

福岡沖地震で大きく被害を受けた玄界島の復興を応援するデザイン活動。記憶に残すメッセージを玄界島復興祈願商品群に託し、地場ブランドを代表する企業、明太子の「ふくや」、お菓子の「如水庵」、お酒の「浜地酒造」、そして書籍の「積文館書店」の異業種が共通デザインを通してメッセージを送り、商品の売り上げの約1割を「島基金」として1年間支援する活動が高く評価された。

島の復興のために、デザインを介して異業種を結び付け、地域を支える力をコーディネートした復興祈願商品による日本初の試みは、全国に運動を広げる手本ともなるものであり、審査委員全員が、この取り組みは、一つの部門の優秀賞としての評価よりも、個別の部門を越えた特別賞に値するものと判断した。

【森田昌嗣】

地域文化部門

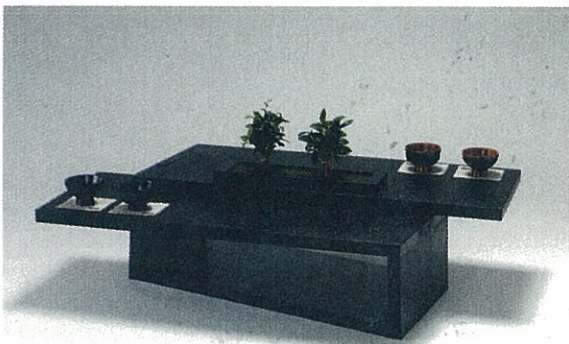


商品名 時の灯リシリーズ (moon・bloom・air)
 企業名 有限会社 アサヒ突板工業
 〒831-0005 大川市向島916-4
 代表取締役 笈島 義郎
 TEL 0944-87-1102 FAX 0944- 87-1402
 URL <http://www1.ocn.ne.jp/~tukiita/>
 E-mail asahit@bronze.ocn.ne.jp

デザイナー Design ship 虎 (福岡デザイン専門学校)
 〒810-0042 福岡市中央区赤坂1丁目10-10
 青野 浩千加

審査講評 ここ近年福岡で、もっとも注目されている「デザインシップ虎」によってデザインされた照明器具である。薄木の突板のランプシェードを透過して柔らかい光が周りを包み込む。そしてそのシンプルなデザインを可能にしたのは、ピアラシオという薄くスライスされた突板をガラスや合成樹脂で挟みあわせた、独自の技術が活かされている点にあった。浮かび上がった木の木目のフォルムが造形的にきれいに仕上がっていた。 【かねこしんぞう】

地域文化部門



商品名 茶衣品 SAEMON
 企業名 茶衣品グループ (隈本木工所・鏝工芸・栄和装工)

問い合わせ先
 〒834-0006 八女市吉田1507-3 隈本木工所
 TEL 0943-22-2955 FAX 0943-22-3713

デザイナー 栄和装工
 〒832-0088 柳川市間670-2
 彌永 友和

審査講評 受賞企業の茶衣品グループが八女市に本拠地を置く企業ならではのアイデアが評価された。
 八女地方の伝統産業である「茶」や「提灯」や「漆器」などの技術を、現代の生活空間に蘇らせる試みである。それは「茶」の葉を使った漆塗りの、新しいデザインの家具や器や小物となって登場した。空間との構成がコンセプトの、地元3社のコラボレーションの努力が実った受賞だった。 【かねこしんぞう】

地域文化部門



商品名 二重織ストール〜博多織五色献上によせて〜「女性のためのトータルファッション」

企業名 西村織物 株式会社
 〒818-0061 筑紫野市紫7丁目3-5
 代表取締役社長 西村 聡一郎
 TEL 092-922-7083 FAX 092-925-2925
 URL <http://www.oriya-nishimura.co.jp/>
 E-mail teruko@oriya-nishimura.co.jp

審査講評 博多織と云えば、着物や献上帯に代表されるように伝統的な、質感も硬いイメージがあるが、この西村織物の紫野工房ブランドの受賞作品は、女性のためのトータルファッションとして柔らかい、軽くて暖かく通気性の良い絹100%を「博多織五色献上」によせて、五色の草木染めで仕上げたストールである。
 二重織ストールや、ツーピースや帽子など従来の常識を大きく変える意欲的な作品であった。 【かねこしんぞう】

地域文化部門



商品名 芭蕉生誕360年記念 平松暁作芭蕉春秋4作(桜・芭蕉・楓・雪)

企業名 鵬翔 株式会社
〒811-2207 糟屋郡志免町南里2-20-20
代表取締役 重松 和門
TEL 092-935-3583 FAX 092-935-3763
E-mail housho@guitar.ocn.ne.jp

デザイナー 平松暁デザイン総合事務所 (株)パートツウ
〒810-0023 福岡市中央区警固1-4-18
平松 暁

審査講評 「松尾芭蕉は「庭」を出て、大自然のなかに自家の「庭」を見、また、つくった。」と坂口安吾も論じた。芭蕉の俳句には、直感的な自然への畏怖が投影されている。その大自然が醸す、四季折々の草木、風物が詠まれて今日でも多くの人に親しまれている。この作品は芭蕉生誕360年記念と銘打った春秋4種の絵柄をモチーフとした博多織着物である。図柄も黒地に鮮やかな雪や草花があしらわれていた。

【かねこしんぞう】

マテリアル部門



商品名 ORIGINAL TASTEシリーズ

企業名 株式会社 アクタ
〒811-3105 古賀市鹿部335-1
代表取締役社長 柴田 伊智郎
TEL 092-943-3931 FAX 092-943-3981
URL <http://www.acta-web.co.jp/>
E-mail info@acta-web.co.jp

審査講評 たかが弁当箱、されど弁当箱である。折箱は発砲スチロールに木目を印刷したものや単なるプラスチック製の味気ないもの多く見受けられる。弁当箱は中身をおいしく見せ、購入意欲をそそるものでなければならぬ。ORIGINAL TASTEシリーズは、箱の縁部分を効果的に活用し多用途をもたらした点が評価された。色やロゴにより和風にも洋風にもなる。ダークな色で高級感、ビビッドな色で子供向け等。弁当名、菓子名、店名を入れるなど、用途は広い。

【加生幸彦】

マテリアル部門



商品名 筑後もめん 広巾

企業名 有限会社 坂田織物
〒834-0105 八女郡広川町大字長延602
代表取締役 坂田 徹裕
TEL 0943-32-1402 FAX0943-32-4900
URL <http://www.sakataorimono.com/>
E-mail kasuriya@axel.ocn.ne.jp

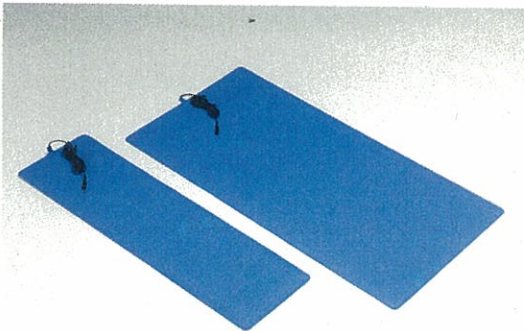
デザイナー 国立大学法人九州大学大学院芸術工学研究院
〒815-8540 福岡市南区塩原4-9-1
教授 森田 昌嗣

岡山県立大学デザイン学部
〒719-1197 岡山県総社市窪木111
助教授 難波 久美子

審査講評 伝統的な久留米紬の括りとは島紬の仮織の製法を取り入れ、また、織機の組換え、ならびに糸の太さに工夫を行うことにより、紫外線遮蔽率の高い巾広のインテリア素材「筑後もめん 広巾」として進化させた点が評価された。パターンデザインも、伝統的なものからモダンなもの、色味も白に近い明るいものから藍染めのように暗いものまで、様々なインテリアアーティストにマッチする品揃えを期待する。また、異素材(金属・ガラス・木・皮等)との組合せも考えられる。

【加生幸彦】

テクノロジー部門



商品名 フレキシブル面スイッチ
 企業名 株式会社 アメニテックス
 〒800-0217 北九州市小倉南区下曾根3-2-7
 代表取締役 山崎 房一
 TEL 093-472-4174 FAX 093-472-3606

審査講評 電極材にフレキシブル面電極を採用しているため、スポンジのような柔らかい物の上に装着してもスイッチ機能を損なわない面スイッチである。薄くて柔軟性があり、幅広いスイッチが可能で、折り曲げも出来る。用途は、ベッド・車いすに装置すれば、高齢者や病人を無拘束で安全に見守る事ができる。ロボットに装置すれば、衝突事故を防止できるなどの広い活用が考えられるところが評価された。【大歯滋喜】

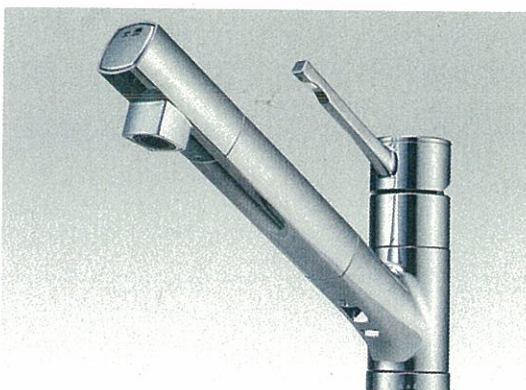
テクノロジー部門



商品名 サインマーカー
 企業名 コックス 株式会社
 〒839-0864 久留米市百年公園1番1号 久留米リサーチセンタービル
 代表取締役社長 廣瀬 榮一
 TEL 0942-46-1285 FAX 0942-46-1286
 URL <http://www.cox4.co.jp/>
 E-mail cox-lab@cox4.co.jp

審査講評 太陽電池を電源とし、超高輝度LEDを6個搭載した多目的全方位発光器。マイコンで日没・夜明けの点灯・消灯・夜間の点滅を自動制御。直径100mm、高さ70mm、重量160gのコンパクトなドーム型形状で専用レンズの特殊カットングで光の集合率をアップして光の直進性を強化、水没にも耐える高气密防水構造としている。5種類の発光色を揃えており、警告灯、防犯灯、表示灯、誘導灯、認識灯等幅広い用途開発が考えられるところが評価された。【大歯滋喜】

テクノロジー部門



商品名 みず工房キューブ
 企業名 株式会社 タカギ
 〒802-8540 北九州市小倉南区石田南2丁目4-1
 代表取締役社長 高城 寿雄
 TEL 093-965-1237 FAX 093-962-8876
 URL <http://www.takagi.co.jp/>

審査講評 蛇口先端に浄水機能を内蔵した、蛇口一体型浄水器。レバーハンドルにクリック機能を持たせ、3段階の流量調節が可能。浄水器のカートリッジ(特許)に殺菌セラミックを採用している。蛇口先端部のボタンを押して浄水・原水の2段切り替え、浄水で70℃までのお湯が使える調理時間を短縮出来るなどの高機能を実現している。造形的にも丸みをもった角型の蛇口一体型浄水器としてまとめたところとパッケージデザインが評価された。【大歯滋喜】

環境・福祉部門



商品名 目配り三角シール サンクリアF-1DT12
 企業名 有限会社 完装
 〒816-0095 福岡市博多区竹下1丁目11-27
 代表取締役 深見 和己
 TEL 092-431-0529 FAX 092-431-0529

審査講評 この商品は、平成12年度に優秀賞を受賞した「バック駐車お助け反射シール」の展開型商品である。先回のバック駐車用シートの材質や厚さ等の性能をアップさせ、用途もバック駐車用に加えて駐車場の出入り口、歩道と車道の境界部や段差部分など、歩行者への注意喚起が求められる場所での展開に広がっている。最初の受賞から5年が経過する中で、高輝度反射シート活用の明快な商品コンセプトを維持しながら適用範囲を広げ、さらに景観へ配慮した白色のシートカラーを加えるなど、商品性能を向上させることによる施工実績を着実に増やしていることが評価された。

【森田昌嗣】

環境・福祉部門



商品名 エレガントブラ
 企業名 株式会社 T&Iインターナショナル
 〒812-0039 福岡市博多区冷泉町1-3-714
 代表取締役 石津 純江
 TEL 092-281-3029 FAX 092-281-6866
 URL <http://www.tedukuriya.net/>
 E-mail tandi@tedukuriya.net

審査講評 障害や高齢のために身体が不自由な女性のために、機能だけでなく抑えていた女心を取り戻し、生きる夢と希望をもってもらうためのエレガントなおしゃれ下着。下着を身につける楽しみを考え、布地やレースに優しい肌触りの伸びる素材を使用し、片方の手でも足元から引っ張り上げて着ることのできる輪になった形状や、シリコンパットを容易に装着できる工夫などの機能性と共に、ソフトな色合いにレースを合わせたデザインにまとめていることが評価された。

【森田昌嗣】

環境・福祉部門



商品名 らくらく®シリーズ
 企業名 月星化成 株式会社
 〒830-8622 久留米市白山町60番地
 代表取締役社長 田中 久義
 TEL 03-3403-6738 FAX 03-3403-5660
 URL <http://www.moonstar.co.jp/>
 E-mail info@moonstar.co.jp

審査講評 若々しく元気に過ごしたい高齢者のための「歩きやすく」「履きやすい」を考えた体にやさしい靴。昨年、優秀賞を受賞したりハビリ用介護靴「フェアベリッシュ」の実績を活かし、今回は、元気な高齢者のための体にやさしい靴の開発である。昨年と同様に、科学的データに基づきユーザーの意見を取り入れた開発プロセスにより、大きく開く面ファスナーやふらつきを抑えるインソールなどの機能面に、きめ細やかな配慮が施されていることに評価を得た。また、この種の靴は、機能面が主となりファッション性の配慮が欠ける場合が多いが、本商品は、形態や色づかいなどを考慮している点も評価された。

【森田昌嗣】

環境・福祉部門



商品名 医者・障害者が奨める制震エコ住宅(ゆりかごの家)
 企業名 有限会社 ハウス119
 〒814-0001 福岡市早良区百道浜2-1-22 福岡SRPセンタービル302
 代表取締役 古澤 秀和
 TEL 092-585-2553 FAX 092-585-2554
 URL <http://www.house119.co.jp/>
 E-mail furusawa@house119.co.jp

デザイナー 株式会社 汎建築研究所
 〒810-0071 福岡市中央区那の津1-3-5エクセレンス天神802
 井田 良市

審査講評 医者と障害者を核に異業種交流によって考案されたりサイクル可能で耐震性を有するエコ住宅。医者と障害者を発起人に弁護士や公認会計士、主婦、建築家などのグループによって、健康者と障害者が共に快適に過ごすことができるユニバーサルデザインを目指し、かつ木造によるエコロジーデザインの配慮がなされていることが評価された。また、日本の伝統的建築工法によりほとんど金物を使用せずに耐震構造を構築し、在来工法ながら現代風の意匠を施している点も評価されたが、上記の住まい方のコンセプトが、もっと建築デザインに表現する独創性が求められる。

【森田昌嗣】

ライフスタイル部門



商品名 ①しその実入りノンオイル青じそドレッシング
 ②柚子入り金胡麻ドレッシング
 ③香味野菜入り香味焙煎たまねぎ醤油ドレッシング
 ④ヒアルロン酸入りピンクグレープフルーツドレッシング

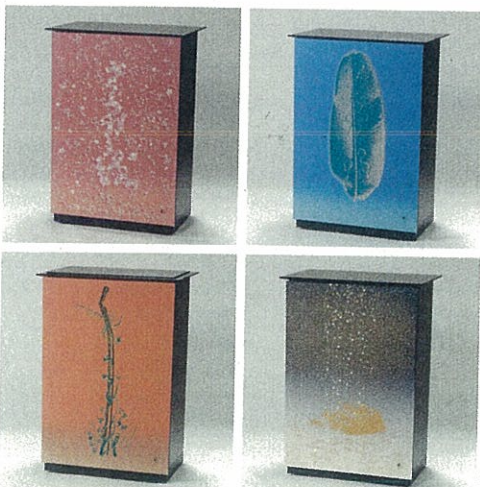
企業名 一番食品 株式会社
 〒820-8601 飯塚市伊川1115
 代表取締役社長 齊藤 守史
 TEL 0948-22-0100 FAX 0948-24-5115
 URL <http://www.ichiban-foods.co.jp/>
 E-mail kikaku@ichiban-foods.co.jp

デザイナー 株式会社 トップアイデアセンター西日本
 〒810-0022福岡市中央区薬院1-17-28
 丸山 里奈

審査講評 一番食品「ドレッシング」は、高級ドレッシングとして素材にこだわった商品である。そのこだわりがボトル、ラベル、ネーミングに表現されているかどうか審査のポイントであった。食品分野は、とくに過剰なデザインになりがちだが、本製品は力まず、自然体で商品の特徴をよく現している点が評価できる。しかし、高度な消費者をターゲットにした商品だけにさらなるトライアル(改善改良)が必要である。また、パッケージ用の紙箱には、もっと商品にふさわしいデザインが必要である。

【桐山登士樹】

ライフスタイル部門



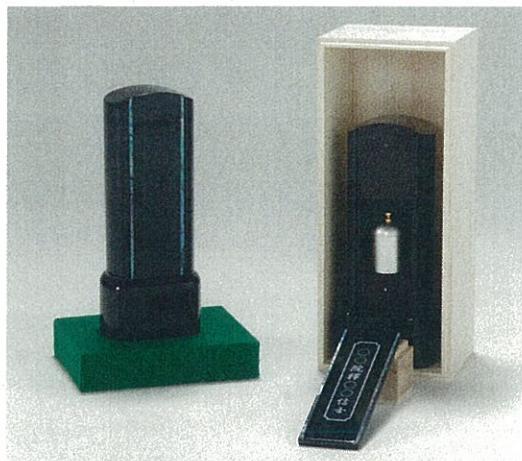
商品名 GALLERY BASYOU FOUR SEASONS
 企業名 末次装工材 株式会社
 〒813-0005 大川市大字向島1610
 代表取締役社長 大関 栄
 TEL 0944-86-5567 FAX 0944-87-5500
 URL <http://www.kagu-fukuoka.or.jp/member/148.htm>
 E-mail SUETUGU@po.saganet.ne.jp

デザイナー 平松暁デザイン総合事務所(有) パートツウ
 〒810-0023 福岡市中央区警固1-4-18
 平松 暁

審査講評 大川家具の新しい展開を試みた意欲的な作品。新しい技法により、グラフィック処理された版画が家具の背面に転写されており、あたかもギャラリーの展示作品でもあるかの様な印象を与える。おもて面はいくつかの収納バリエーションが用意されており、一般的な収納家具としての機能を持っている。空間の仕切りやエントランスの視線の受けとして、情報を発信する存在感のある家具である。グラフィックのテーマによっては、もう少しライトな感覚の仕様も考えられるのではないだろうか。

【鮎川透】

ライフスタイル部門



商品名 メモリアルタブレット「静寂」
 企業名 有限会社 ティ・アール・ジィ
 〒816-0912 大野城市御笠川5丁目3-15
 代表取締役 林 佐津子
 TEL 092-587-0236 FAX 092-504-1351
 URL <http://www.trg-net.jp/>
 E-mail info@trg-net.jp

審査講評 多様化するライフスタイルの中でも、比較的保守的な祖先の供養という分野において新しいスタイルを提案した作品。これは位牌と骨壺を合体させ、身近に置いてお参りできるというコンセプトである。合わせて、漆や螺鈿という伝統的な材料を用いて、決してモダンだけではない、伝統を感じさせる微妙な形態に仕上げたデザインとともに、仕上げレベルの高さも評価したい。バリエーションの展開も期待出来る商品である。
 【鮎川透】

ライフスタイル部門



商品名 PERVIO (ベルビオ) ロー・テーブル
 企業名 東木工 株式会社
 〒831-0035 大川市津605-1
 代表取締役 東 三起雄
 TEL 0944-88-1238
 FAX 0944-88-1522
 E-mail higashi-mk@cyber.ocn.ne.jp

審査講評 写真で見ると実物の作品は数段良かった。ガラスのボックスというどちらかというとありそうな家具だが、それを照明と組み合わせることにより、新しい顔を見せた。点灯時の質感を失った光の塊になったボックスは、インテリアに新しい光の波をおこすだろう。技術的には、ガラスの強度の問題の克服は不可欠であるとともに、光源としてLEDの導入を検討してはどうか。それにより色調や光量のバリエーションなど、さらなる改善が期待される。
 【鮎川透】

ライフスタイル部門



商品名 ウッドスクーター
 企業名 木工房プロペラハウス
 〒830-0038 久留米市西町456-1
 主宰 工藤 成樹
 TEL 0942-37-3361
 FAX 0942-37-3361
 URL <http://www.propeller-shop.net/>
 E-mail brown@kumin.ne.jp

審査講評 「ウッドスクーター」は、愛らしいデザインで好感が持たれた。しかし、玩具の市場は激戦で世界には素晴らしいデザインのものが多い。そういう意味では、もっとマーケティングに力を入れるべきである。デザイン的な注文としては、開発のポイントでもあったキャストがデザイン的にはミスマッチである。開発コンセプトを生かしたデザインにして欲しい。
 【桐山登士樹】

インターフェース部門



商品名 スクローラー
 企業名 株式会社 イーケイジャパン
 〒818-0105 太宰府市都府楼南2丁目19番30号
 代表取締役 井口 秀実
 TEL 092-923-8230 FAX 092-923-8237
 URL <http://www.elekit.co.jp/>
 E-mail info@elekit.co.jp

デザイナー 株式会社 アイム
 〒813-0016 福岡市東区香椎浜4-1-8-208
 宮本 一伸

審査講評 「自分で組み立てる」ことに、とことんこだわり続ける企業姿勢と、それに対する多様な製品展開を踏まえた取り組みとして、スクローラーをはじめとした他の製品群を含めた形での評価となった。特にスクローラーに関しては、子どもたちが自分で組み立てるだけでなく、出来上がったものに対するデザインの完成度を意識させるという点で、完成品としてのデザインの良さが評価された。

今後は、子供達が「自分で組み立てる」から「さらによいモノにしていく(よいデザインに気付いていく、学ぶ)」という部分までのさらなる大きな視野のもと、スクローラーをはじめとした他の製品も含め努力して欲しいという思いから、今回の奨励賞となった。

【清須美匠洋】

インターフェース部門



商品名 VANASARAウコン石けん/VANASARA黒糖石けん/
 VANASARAシルクと桑の葉石けん

企業名 まるは油脂化学 株式会社
 〒830-0002 久留米市高野2丁目8-53
 代表取締役 林 眞一
 TEL 0942-32-9529 FAX 0942-39-4146
 URL <http://www.nanairo.co.jp/>
 E-mail info@nanairo.co.jp

デザイナー clip
 〒815-0083 福岡市南区高宮5-4-21
 永淵 純子

株式会社 利助オフィス
 〒810-0023 福岡市中央区警固1-15-6KH22ビル5F
 手島 裕司

審査講評 製品としての独自の価値をネーミング、形状及びパッケージにまでこだわり、完成度の高い製品に仕上がっていることが評価された。今後、他社との差別化のために、原料そのものの色と形が変わらないという提供価値を表現する、及び製品構成要素(ロゴ、マーク、パッケージ等のエレメント)をそれぞれ差別化し、もうひとつ上のデザイン(ある程度完成した分かりやすいデザインに加え、オリジナリティの高いデザイン)に向けた工夫がされることを期待する。

【清須美匠洋】




FUKUOKA DESIGN AWARD

福岡産業デザイン界に虹をかけ新商品開発への未来性をアピールしたFUKUOKA DESIGN AWARDのシンボルは、Design「D」に翼をつけ、ふくおかの「ふ」をディフォルメし地球環境時代の人と社会、人と環境、「モノづくりとデザイン」のバランスとテーマ性を大切にした紋様としてのメッセージ性がこめられています。

デザイン 平松 暁